

ロボット・テクノロジー関連株ファンド –ロボテック– / ロボット・テクノロジー関連株ファンド –ロボテック– (為替ヘッジあり) / ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) –ロボテック(年1回)– (為替ヘッジあり) / ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) –ロボテック(年1回)–

ロボット関連銘柄の足元の状況と今後の見通し

※当資料は、アクサ・インベストメント・マネージャーズが提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

2019年1月21日

◆「ロボット・テクノロジー関連株ファンド –ロボテック–」の略称として「ロボテック」を用いることがあります。

足元のパフォーマンス動向

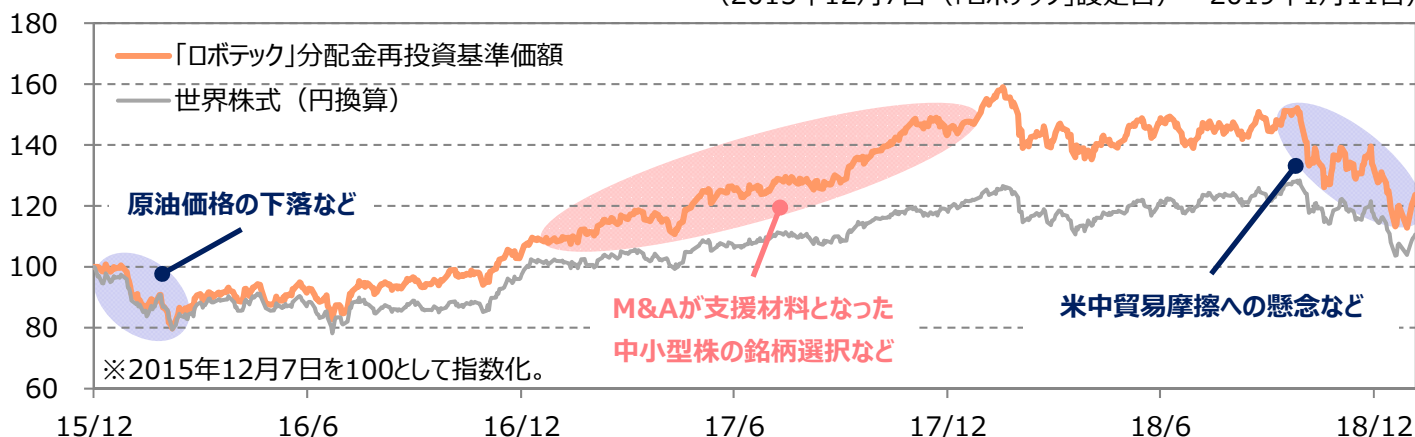
銘柄選択力で設定来のパフォーマンスをけん引。2018年以降は軟調な展開。

ロボテックの設定来のパフォーマンスは、世界株式を上回って推移しています。2015年12月の設定当初から2017年にかけては、下落局面に成長の確信度の高い企業を割安な水準で購入したことや、M&Aが支援材料となった中小型株の銘柄選択などが奏功し、良好なパフォーマンスとなりました。

一方で、2018年のロボット関連株は軟調に推移しました。米国長期金利の上昇や米中の貿易摩擦をめぐる動向などに左右されながら変動の大きな相場展開になりました。トランプ大統領が仕掛ける貿易戦争は、その対象となる国が中国に限らないため、多くのメーカーが新たな設備投資をしにくい状態となっていることでロボット関連企業に対する懸念が広がっています。また、2018年12月下旬から2019年1月上旬にかけては、米国の政府機関閉鎖をめぐる警戒感、中国の景況感指数の悪化、米国の代表的銘柄であるアップルの業績下方修正により企業業績への懸念が広がったことなどが株価の押し下げ要因となりました。

ロボテックと世界株式のパフォーマンス

(2015年12月7日(「ロボテック」設定日)～2019年1月11日)



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。※世界株式はMSCI ACWI Indexを使用しています。また、当ファンドのベンチマークではありません。※円換算は、前営業日の指数値に当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を乗じて算出しています。※MSCI株価指数は、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。(出所)ブルームバーグ

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>

今後の見通し

足元のグローバル株式市場は変動性の高い局面がしばらく続くと想定されるが、 今後もロボット関連市場の見通しは魅力的。

世界の株式市場は、世界経済の減速懸念、米中貿易戦争の長期化、英国のEU（欧州連合）離脱をめぐる不透明感、欧州政治の不安定化など様々な不安要因を背景に変動性が高まっています。米中貿易戦争の長期化による中国向け受注減などがロボット関連銘柄の売りにつながっているものの、**これらの政治問題について、今後解決策が見いだされた時には株式市場が反転する可能性も考えておく必要がある**とみています。中国は米国トランプ政権の抱く懸念を払拭しようと、米国が警戒するハイテク産業育成策「中国製造2025」の追求をかつてほど前面に押し出さないものの、既存産業の自動化支援には惜しみなく資金を投じており、**中国のロボット革命の動きが止まることはない**と考えられます。さらに、トランプ大統領は製造業の国内回帰を図っていますが、これは米国の高い賃金水準を考えると企業収益を圧迫することになります。そうなれば**企業は生産性を向上させ、単位労働コストを下げるためにより一層の自動化の促進、ロボットの導入を進めていく**ことが見込まれます。

ロボット関連市場の拡大には、先進国の生産年齢人口の減少や新興国での賃金上昇といった社会の構造変化や、ビッグデータや5Gなどの技術革新の進展などがその背景にあります。より少ない労働人口で経済活動を維持・拡大していくためには効率化を進めていくことが不可欠であり、今後もロボット市場は拡大が続くことが見込まれます。

ロボット関連市場の拡大を支える要因

社会の構造変化
先進国の生産年齢人口の減少や新興国の賃金上昇など

技術革新
ロボット関連技術の進歩や低価格なロボットの登場など

これからのロボット市場の成長を促進させる先進技術

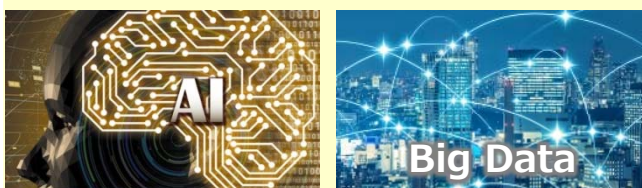
これからのロボット市場は半導体、ソフトウェア、AI（人工知能）といった**デジタル化を支える基盤となる先進技術が成長促進要因になる**と考えています。5Gの本格導入によるコネクティビティの大幅な向上や、ビッグデータのAI分析を可能とする半導体・ソフトウェア技術の革新により、「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の全ての分野において成長の加速が見込まれます。これらの新たな技術が結びつくことで、さまざまなロボット関連分野において、集約されたデータ分析に基づいた更なる効率化や新たなサービスの実現が可能となります。

革新的な技術をもたらす企業は、ロボット市場全体の成長を促進し、かつ自らも大きな恩恵を受けます。当ファンドにおいても、このようなロボット市場全体の成長を支える先進技術を持つ企業へ投資しています。

コネクティビティの向上



AI分析技術の向上



【ご参考】当ファンドについて

当ファンドは3つのテーマ、「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」に注目して投資を行ないます。その中から優れたロボット技術を有する企業を発掘し、確信度に基づいて銘柄を選択します。

ロボット技術が進むと同時に、5G・IoT・AI・ビッグデータといった自動化を可能にさせる先進技術が登場し、ロボットが応用される分野は飛躍的に拡大しています。当ファンドにおいてもそれらは各テーマの自動化を支えるものとして投資対象に含まれています。尚、当ファンドは持続的な成長トレンドを捉えて運用しているため、技術の進化とともに投資対象となる範囲は変化・拡大しています。

アクサ・インベストメント・マネージャーズがそれぞれのテーマで注目している分野*

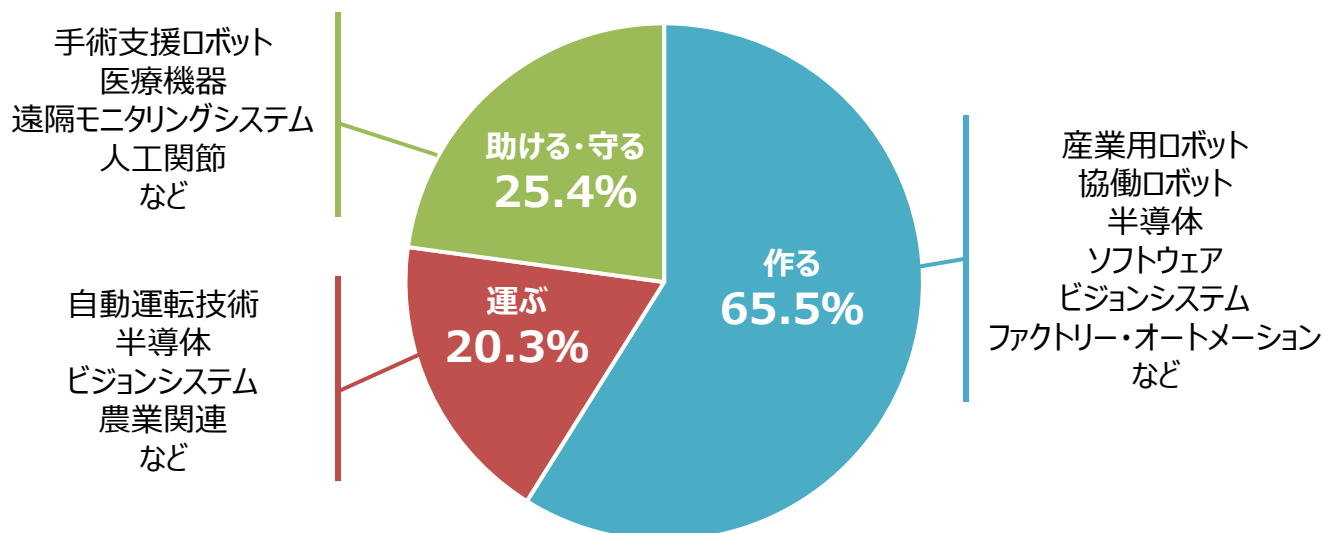


*2018年12月末時点

※当ファンドは持続的な成長トレンドを捉えて運用しているため、技術の進化とともに投資対象となる範囲は変化する可能性があります。

※当ファンドの株式の運用は、アクサ・インベストメント・マネージャーズが担当します。

ポートフォリオ*の投資テーマ別構成比率（2018年11月30日現在）



*ロボット・テクノロジー関連株ファンドーロボテックーの投資対象ファンドであるアクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の株式ポートフォリオに対する比率です。

※各テーマにまたがる企業もあるため、合計は100%となりません。

（出所）アクサIMのデータを基に大和投資信託作成

【ご参考】アクサ・インベストメント・マネージャーズの強み、当ファンドの運用プロセスについて

アクサ・インベストメント・マネージャーズの強み

✓ テーマ型運用に定評

デジタル化、自動化、長寿化などといった社会の変化を捉え、その中から長期にわたって高成長が期待できるものを独自の「テーマ」として運用しており、テーマ型運用に定評があります。

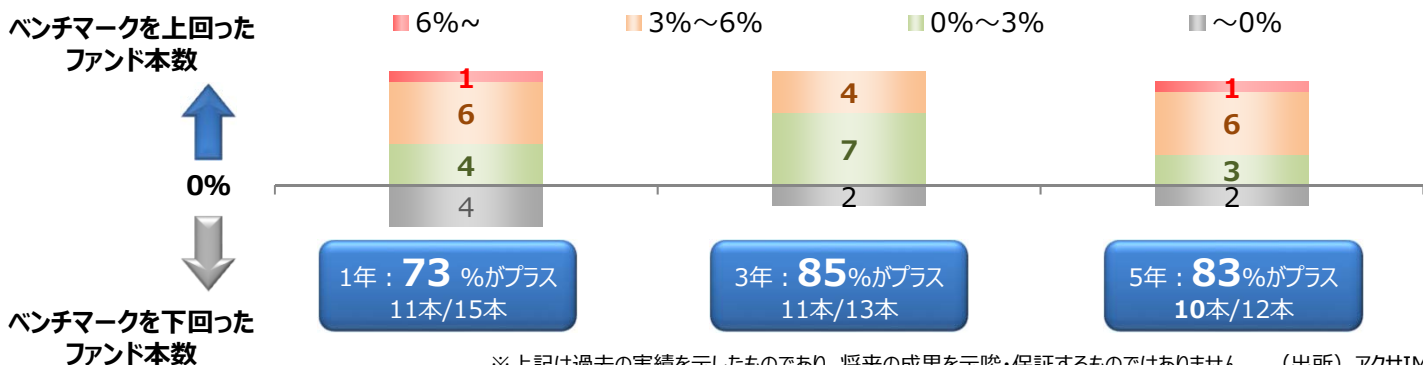
✓ 多角的な分析

さまざまなテーマ型ファンドの運用によって培った多角的な分析は、従来技術と新技術との融合により枠組みを越えた発展が見込まれるロボット関連企業選定に有効。

✓ 優れた運用実績

中小型株運用にも定評があり、数々の賞を受賞しています。当ファンドにおいても革新的技術を持つ中小型企業への投資を積極的に行なっています。

-アクサの中小型株運用ファンドのベンチマークに対する超過収益(2018年9月末現在)-



※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。(出所) アクサIM

当ファンドの運用プロセス

日本を含む世界の金融商品取引所上場株式

アイデア生成とテーマによるスクリーニング
約300~400銘柄

銘柄選択
約150銘柄

ポートフォリオ
約40~60銘柄

- ロボット・テクノロジーに関連する成長テーマを特定
- 長期にわたり成長の可能性を有する企業群を選別

- 中長期的にロボット関連事業が業績に対して大きな影響を有することが期待される企業に着目
- 以下の点を考慮し、銘柄を選定
 - 高度な技術力
 - 強力な経営陣
 - 価格決定力
 - 業績上方修正の可能性
 等

- 中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選択
- 以下の点を考慮し、組入比率を決定
 - 株価の上昇期待度
 - 下落の余地
 - バリュエーション
 等

- ✓ 投資銘柄数：約40-60銘柄
- ✓ 個別銘柄ウェイト：1-6%

- ✓ 時価総額：原則5億米ドル以上
- ✓ 売買回転率：30%程度

※上記の投資銘柄数、時価総額、個別銘柄ウェイト、売買回転率等は、あくまでも原則を示したものであり上記のとおりにならない場合もあります。また、上記は当資料作成時点のものであり、今後変更になる場合があります。

基準価額の推移

ロボット・テクノロジー関連株ファンド – ロボテック –

当初設定日（2015年12月7日）～2019年1月11日



ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） – ロボテック（年1回） –

当初設定日（2016年2月8日）～2019年1月11日

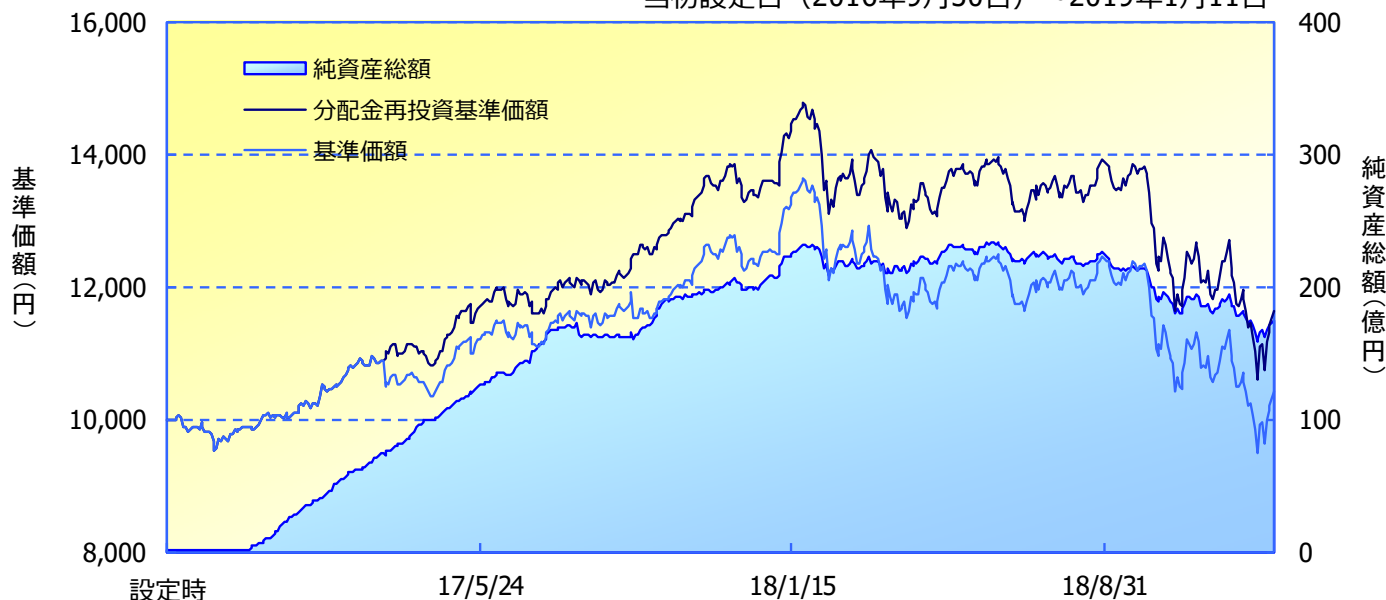


※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額の推移

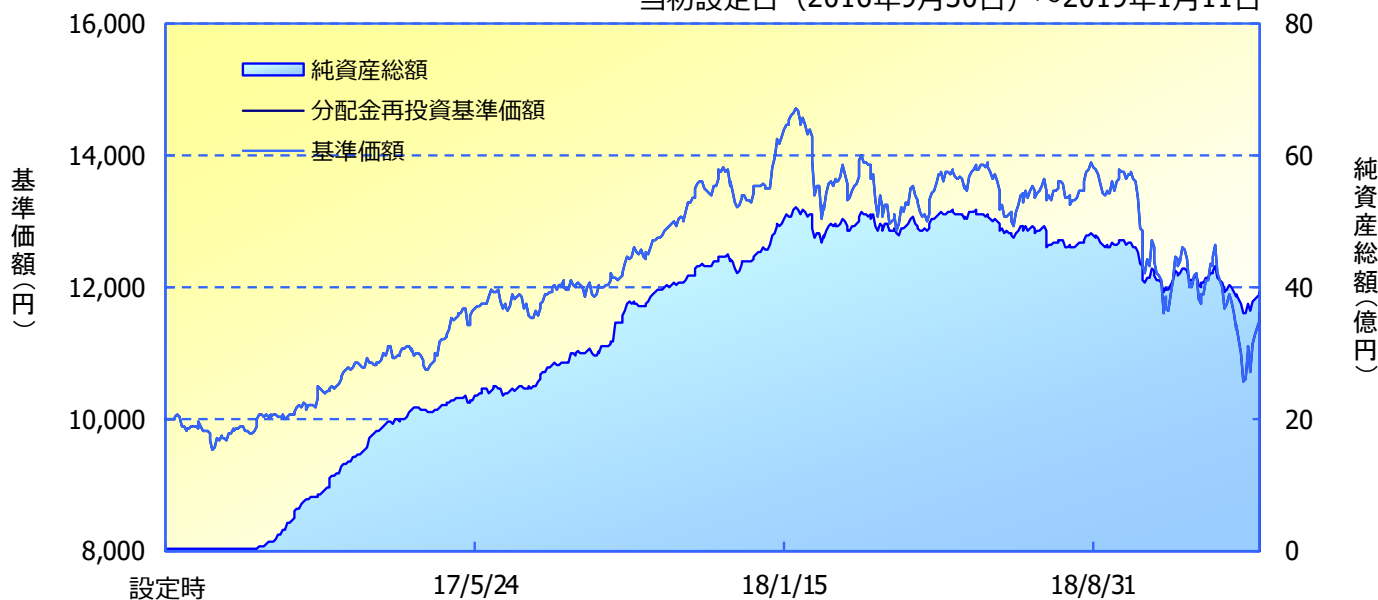
ロボット・テクノロジー関連株ファンド –ロボテック–（為替ヘッジあり）

当初設定日（2016年9月30日）～2019年1月11日



ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） –ロボテック（年1回）–（為替ヘッジあり）

当初設定日（2016年9月30日）～2019年1月11日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

ロボット・テクノロジー関連株ファンド –ロボテック–
ロボット・テクノロジー関連株ファンド –ロボテック–(為替ヘッジあり)
ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) –ロボテック(年1回)–(為替ヘッジあり)
ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) –ロボテック(年1回)–

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本を含む世界のロボット関連企業の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 日本を含む世界のロボット関連企業の株式に投資します。
※株式…DR（預託証券）を含みます。
※当ファンドにおけるロボット関連企業とは、ロボット・テクノロジーの開発や製造などにより、ビジネスを展開する企業を指します。
2. 株式の運用は、アクサ・インベストメント・マネージャーズが担当します。
3. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、ロボット関連企業の株式に投資します。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「特定の業種への集中投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※ロボット・テクノロジー関連株ファンド –ロボテック–（為替ヘッジあり）とロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） –ロボテック（年1回）–（為替ヘッジあり）は、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。一部の通貨について、為替ヘッジが困難、あるいは、ヘッジコストが過大と判断される際には、為替ヘッジを行わないまたは他の通貨で代替した為替取引を行なう場合があるため、為替変動の影響を受けることがあります。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ロボット・テクノロジー関連株ファンド –ロボテック–
ロボット・テクノロジー関連株ファンド –ロボテック–(為替ヘッジあり)
ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) –ロボテック(年1回)–(為替ヘッジあり)
ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) –ロボテック(年1回)–

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用 | | |
|---------------------|--|---|
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 購入時手数料 | 販売会社が別に定める率 〈上限〉 3.24% (税抜3.0%) | 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 | — |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 | | |
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 運用管理費用 (信託報酬) | 年率 1.215% (税抜 1.125%) | 運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。 |
| 投資対象とする 投資信託証券 | 年率 0.567% (税抜 0.525%) | 投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。 |
| 実質的に負担する 運用管理費用 | 年率 1.782% (税込) 程度 | |
| その他の費用・ 手数料 | (注) | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 |

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

ロボット・テクノロジー関連株ファンド –ロボテック– 取扱い販売会社

| 販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名) | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|---------------------------------|----------|-----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 日本投資 顧問業協会 | 一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会 |
| 株式会社あおぞら銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第8号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社青森銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長(登金)第1号 | ○ | | | |
| 株式会社阿波銀行 | 登録金融機関 | 四国財務局長(登金)第1号 | ○ | | | |
| 株式会社イオン銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第633号 | ○ | | | |
| 株式会社愛媛銀行 | 登録金融機関 | 四国財務局長(登金)第6号 | ○ | | | |
| 株式会社沖縄海邦銀行 | 登録金融機関 | 沖縄総合事務局長(登金)第3号 | ○ | | | |
| 岐阜信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長(登金)第35号 | ○ | | | |
| 株式会社京都銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長(登金)第10号 | ○ | ○ | | |
| 京都信用金庫 | 登録金融機関 | 近畿財務局長(登金)第52号 | ○ | | | |
| 株式会社近畿大阪銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長(登金)第7号 | ○ | | | |
| 株式会社熊本銀行 | 登録金融機関 | 九州財務局長(登金)第6号 | ○ | | | |
| 株式会社京葉銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第56号 | ○ | | | |
| 株式会社高知銀行 | 登録金融機関 | 四国財務局長(登金)第8号 | ○ | | | |
| 埼玉縣信用金庫 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第202号 | ○ | | | |
| 株式会社埼玉りそな銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第593号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社佐賀銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長(登金)第1号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社山陰合同銀行 | 登録金融機関 | 中国財務局長(登金)第1号 | ○ | | | |
| 株式会社静岡中央銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長(登金)第15号 | ○ | | | |
| 株式会社清水銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長(登金)第6号 | ○ | | | |
| 株式会社十六銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長(登金)第7号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社親和銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長(登金)第3号 | ○ | | | |
| 全国信用協同組合連合会 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第300号 | | | | |
| 株式会社大光銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第61号 | ○ | | | |
| 株式会社大東銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長(登金)第17号 | ○ | | | |
| 株式会社但馬銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長(登金)第14号 | ○ | | | |
| 株式会社筑邦銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長(登金)第5号 | ○ | | | |
| 株式会社千葉興業銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第40号 | ○ | | | |
| 株式会社中京銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長(登金)第17号 | ○ | | | |
| 株式会社筑波銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第44号 | ○ | | | |
| 株式会社東和銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第60号 | ○ | | | |
| 株式会社栃木銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第57号 | ○ | | | |
| 株式会社長野銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第63号 | ○ | | | |
| 株式会社百十四銀行 | 登録金融機関 | 四国財務局長(登金)第5号 | ○ | ○ | | |
| 広島信用金庫 | 登録金融機関 | 中国財務局長(登金)第44号 | ○ | | | |
| 株式会社福岡銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長(登金)第7号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社福島銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長(登金)第18号 | ○ | | | |
| 株式会社豊和銀行 | 登録金融機関 | 九州財務局長(登金)第7号 | ○ | | | |
| 株式会社北洋銀行 | 登録金融機関 | 北海道財務局長(登金)第3号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社北陸銀行 | 登録金融機関 | 北陸財務局長(登金)第3号 | ○ | ○ | | |
| みずほ信託銀行株式会社 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第34号 | ○ | ○ | ○ | |
| 株式会社宮崎銀行 | 登録金融機関 | 九州財務局長(登金)第5号 | ○ | | | |
| 株式会社山形銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長(登金)第12号 | ○ | | | |
| 株式会社りそな銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長(登金)第3号 | ○ | ○ | | |
| あかつき証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第67号 | ○ | ○ | ○ | |
| 株式会社SBI証券 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第44号 | ○ | ○ | | ○ |
| FFG証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 福岡財務支局長(金商)第5号 | ○ | | | |
| 岡三証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第53号 | ○ | | ○ | ○ |
| 岡三オンライン証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第52号 | ○ | ○ | ○ | |

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。

ロボット・テクノロジー関連株ファンド –ロボテック– 取扱い販売会社

| 販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名) | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|---------------------------------|----------|-----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 日本投資 顧問業協会 | 一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会 |
| 岡三にいがた証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第169号 | ○ | | | |
| カブドットコム証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第61号 | ○ | ○ | | |
| ごうぎん証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 中国財務局長(金商)第43号 | ○ | | | |
| 寿証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第7号 | ○ | | | |
| 七十七証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東北財務局長(金商)第37号 | ○ | | | |
| 島大証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 北陸財務局長(金商)第6号 | ○ | | | |
| GMOクリック証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第77号 | ○ | ○ | | ○ |
| 上光証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 北海道財務局長(金商)第1号 | ○ | | | |
| 荘内証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東北財務局長(金商)第1号 | ○ | | | |
| 大和証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第108号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 高木証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第20号 | ○ | | | |
| 立花証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第110号 | ○ | ○ | | |
| 中銀証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 中国財務局長(金商)第6号 | ○ | | | |
| 東海東京証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第140号 | ○ | ○ | | ○ |
| とちぎんTT証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第32号 | ○ | | | |
| 奈良証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第25号 | ○ | | | |
| 西日本シティTT証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 福岡財務支局長(金商)第75号 | ○ | | | |
| 西村証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第26号 | ○ | | | |
| 野村証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第142号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 日の出証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第31号 | ○ | | | |
| ほくほくTT証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 北陸財務局長(金商)第24号 | ○ | | | |
| 松井証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第164号 | ○ | ○ | | |
| 松阪証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第19号 | ○ | | ○ | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第165号 | ○ | ○ | ○ | |
| 三田証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第175号 | ○ | | | |
| 水戸証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第181号 | ○ | | ○ | |
| 豊証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第21号 | ○ | | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| リテラ・クリア証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第199号 | ○ | | | |

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。

ロボット・テクノロジー関連株ファンド ーロボテックー（為替ヘッジあり） 取扱い販売会社

| 販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名） | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|--------------------------------|----------|-----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 日本投資 顧問業協会 | 一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会 |
| 株式会社近畿大阪銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長(登金)第7号 | ○ | | | |
| 株式会社京葉銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第56号 | ○ | | | |
| 株式会社埼玉りそな銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第593号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社大光銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第61号 | ○ | | | |
| 株式会社但馬銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長(登金)第14号 | ○ | | | |
| 株式会社北洋銀行 | 登録金融機関 | 北海道財務局長(登金)第3号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社りそな銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長(登金)第3号 | ○ | ○ | | |
| あかつき証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第67号 | ○ | ○ | ○ | |
| 岡三にいがた証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第169号 | ○ | | | |
| ごうぎん証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 中国財務局長(金商)第43号 | ○ | | | |
| 七十七証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東北財務局長(金商)第37号 | ○ | | | |
| 島大証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 北陸財務局長(金商)第6号 | ○ | | | |
| GMOクリック証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第77号 | ○ | ○ | | ○ |
| 上光証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 北海道財務局長(金商)第1号 | ○ | | | |
| 大和証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第108号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 高木証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第20号 | ○ | | | |
| 西日本シティTT証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 福岡財務支局長(金商)第75号 | ○ | | | |
| 野村証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第142号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第165号 | ○ | ○ | ○ | |
| 豊証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第21号 | ○ | | | |

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。

ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）－ロボテック（年1回）－（為替ヘッジあり） 取扱い販売会社

| 販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名） | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|--------------------------------|----------|-----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 日本投資 顧問業協会 | 一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会 |
| 株式会社近畿大阪銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長(登金)第7号 | ○ | | | |
| 株式会社埼玉りそな銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第593号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社仙台銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長(登金)第16号 | ○ | | | |
| 株式会社北洋銀行 | 登録金融機関 | 北海道財務局長(登金)第3号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社りそな銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長(登金)第3号 | ○ | ○ | | |
| 七十七証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東北財務局長(金商)第37号 | ○ | | | |
| 上光証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 北海道財務局長(金商)第1号 | ○ | | | |
| 大和証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第108号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 高木証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第20号 | ○ | | | |
| 西日本シティTT証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 福岡財務支局長(金商)第75号 | ○ | | | |
| 野村證券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第142号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第165号 | ○ | ○ | ○ | |
| 豊証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第21号 | ○ | | | |

ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）－ロボテック（年1回）－ 取扱い販売会社

| 販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名） | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|--------------------------------|----------|-----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 日本投資 顧問業協会 | 一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会 |
| 株式会社近畿大阪銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長(登金)第7号 | ○ | | | |
| 株式会社埼玉りそな銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第593号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社仙台銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長(登金)第16号 | ○ | | | |
| 株式会社百十四銀行 | 登録金融機関 | 四国財務局長(登金)第5号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社北洋銀行 | 登録金融機関 | 北海道財務局長(登金)第3号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社山形銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長(登金)第12号 | ○ | | | |
| 株式会社りそな銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長(登金)第3号 | ○ | ○ | | |
| 七十七証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東北財務局長(金商)第37号 | ○ | | | |
| 上光証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 北海道財務局長(金商)第1号 | ○ | | | |
| 大和証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第108号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 高木証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第20号 | ○ | | | |
| 立花証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第110号 | ○ | ○ | | |
| 西日本シティTT証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 福岡財務支局長(金商)第75号 | ○ | | | |
| 野村證券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第142号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第165号 | ○ | ○ | ○ | |
| 豊証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第21号 | ○ | | | |

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。